



HKT タイムス

2025年11月11日 TM担当 ピオルコフスキー潤

枚方市立
東香里小学校
研究通信



HKTアンケート(7月)

1学期末のHKTアンケートでは、1年生から6年生の児童に答えてもらいました。1年生にとっては初めてのアンケートでしたが、2年生以上の子どもたちには、4月にも答えてもらっているため、比較しながら分析することができます。

結果としては、まず探究的な学習をする上で前提となる、「安心」に関する項目では、「クラスや学年は、どんな考え方や思いも発表しやすい雰囲気である」という質問に対して、肯定的な回答が90%となり、4月に引き続き、概ね「安心」な環境で、学習に取り組めていることがわかりました。しかし全ての子どもが「安心」して学べる環境づくりにはまだ課題があり、今後も「安心」できる学級・学年・学校づくりに努めていきたいと思います。

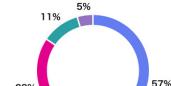
次に6つの資質・能力についての質問でも、4月に引き続き、「あてはある」「ややあてはある」を合わせると、いずれも80%以上となりました。4月に肯定的な数値が高かったコラボレーション（協働）とコミュニケーション（対話）の項目については、それぞれ91%から87%に、91%から88%になり、数値が下がる結果となりましたが、1学期で新しい学年に進級し、まだ慣れないクラスや学年での活動に、戸惑いや難しさを感じている可能性も読み取れます。2学期以降の学習を通じ、

より協働的な活動の成果を実感できるようになればと思います。

一方で4月のアンケートで、6Cの中では肯定的数値の低かったクリティカルシンキング（批判的思考）や、クリエイティビティ（創造）はそれぞれ、80%から83%、82%から88%に上昇しており、1学期の学習の中で、よく考えたり、新しいものやことをつくり上げたりした実感が持てたことがわかりました。また、本校独自の資質・能力として設定している6Cの中でも、昨年度のビジョンマップ（子どもたちが卒業までにつけたい力）を色濃く反映しているコンフィデンス（自信）についての項目では、80%から85%に上昇し、探究的な学びを通じて自信を持てるが増えたり、自分を信じてやってみようという意識が高まったりしていることがわかりました。

また、「探究的な学習をしていて、考え方や行動が変わった」という質問項目の記述回答において、4月は考え方方が変わったという回答が多かったのに対して、7月では、「自分一人で解決できない時は、人を頼るようになった」、「水や植物を大切にできるようになった」、「他のチームの意見を聞きに行けるようになった」など、探究的な学びが行動変容につながっている具体的な記述が増えました。

アンケートの結果を受けて、HKTが、子どもたちにとってよりよい学びとなるよう、研究を進めたいと思います。次のアンケートは2学期末に実施する予定です。



自分だったら「できる」と信じてチャレンジすることができる

6年生 メタバース空間で発表!



7月30日、大阪・関西万博のイベント内、メタバース空間において、6年生の有志のメンバーが、「平和」について探究していることを発表しました。当日は万博の現地会場と学校がオンラインのメタバース空間で繋がり、本校と同じように探究的な学びに取り組んでいる、小・中・高校生の発表もありました。

現地の会場からは、6年生の発表に対して、「平和についてこんなに深く考えていることがすごい」「自分たちの身近な問題に繋げているから、考えさせられた」といったフィードバックもいただき、これまでの取り組みの成果を感じると共に、今後の励みになりました。

JS事業合同研修会

7月22日、JS事業合同研修会に参加しました。大阪教育大学附属平野小学校、大阪市立喜連東小学校と本校での、3校合同の研修会です。

研修ではまず、3校の研究内容を発表し、附属平野小学校の取り組みを中心にポスターセッションを行いました。次に学年ごとのテーブルに分かれて、1学期の取り組みを交流したり、2学期以降の実践について相談し合う座談会を行いました。最後に大阪教育大学の田村知子先生から講評をいただき、国の動向を教えていただいたり、全国の実践について紹介いただいたりして、改めて本校の実践の意味や意義について確かめることができました。



東香里ミニTED(とてもええで)夏!!

東香里ミニTEDは個人の主張の場です。自分が主張したいことを、それぞれに合った表し方で発表します。今年の夏の東香里ミニTEDは、実行委員の5・6年生で決めた、「出る人も見る人もみんな楽しく学びになり、発表しやすい東香里ミニTED」を目指して取り組みました。出場者はなんと! 1年生~6年生、先生、合わせて61名です。9月の4日間の中休みと夏休みを使って行われました。

今回は発表内容も多彩で、最近ハマっている推しの話や、夏休みの経験からの学び、地球温暖化や平和といった世界的な課題についての発表もあり、ピアノやサッカーを実演してくれるチームもありました。



目標通り、クラスや学年の友達が応援に駆けつけ、会場を盛り上げたり、緊張して発表につまってしまった1年生に、司会の子が話しかけたりするなどして、まさに「発表しやすい」TEDの雰囲気が作られていきました。

大勢の人の前で個人の主張をすることは、簡単なことではありません。発表してみよう!とチャレンジできる事を賞賛したいと思います。また、たくさんの人が発表してくれたことで、出る人も見る人も楽しく学びになるTEDになりました。HKTでの学びも大いに生かされていたのではないかと感じました。またこの経験が、2学期以降のHKTにも生かされることを願っています。

